

内航船舶輸送統計速報 (令和 6 年 9 月分)

1. 概況

総輸送量は、26,709 千トン（前年同月比 0.5%増）、13,398 百万トンキロ（前年同月比 2.1%減）であり、大型鋼船は 17,664 千トン（前年同月比 0.7%増）、9,871 百万トンキロ（前年同月比 2.1%減）、小型鋼船は 7,716 千トン（前年同月比 0.8%減）、3,293 百万トンキロ（前年同月比 2.2%減）であった。

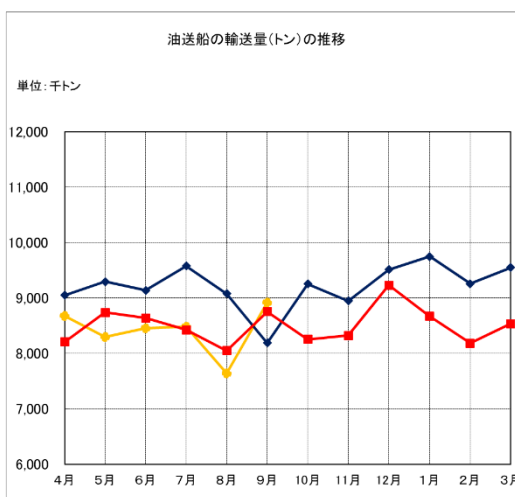
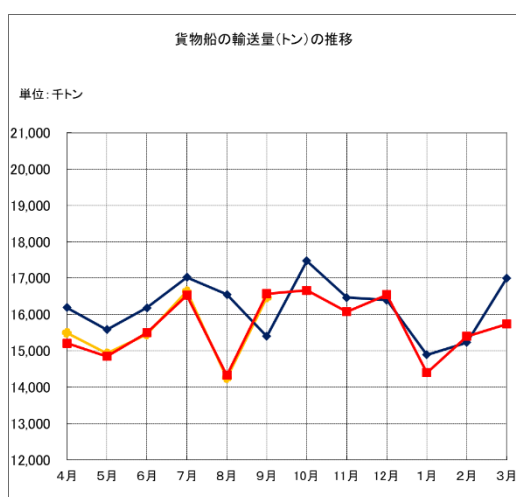
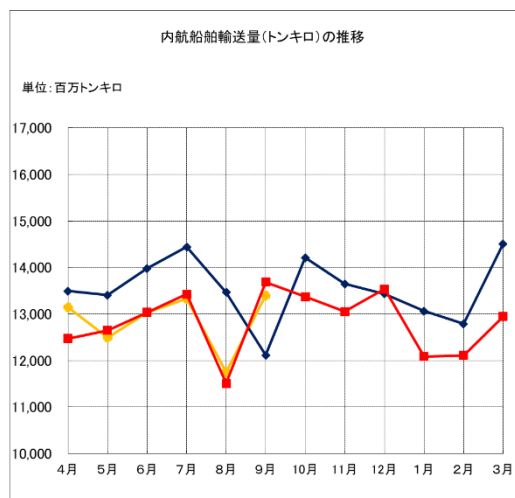
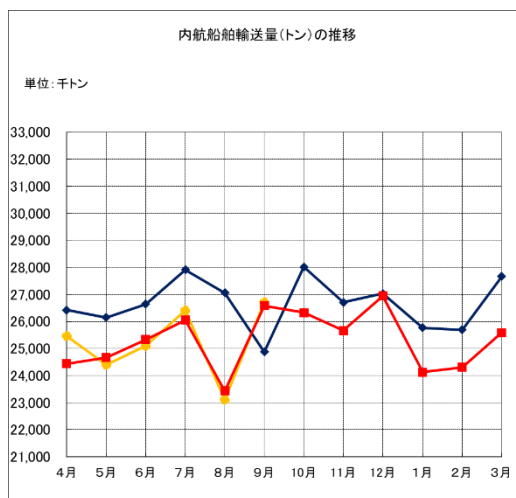
貨物船は 16,464 千トン（前年同月比 0.6%減）、8,593 百万トンキロ（前年同月比 3.4%減）であった。

油送船は 8,917 千トン（前年同月比 1.8%増）、4,571 百万トンキロ（前年同月比 0.5%増）であった。

プッシャーバージ・台船は 1,329 千トン（前年同月比 6.0%増）、234 百万トンキロ（前年同月比 3.6%減）であった。

2. 用途別輸送実績

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合 計	26,709	100.5	13,397,589	97.9
大型鋼船	17,664	100.7	9,870,839	97.9
小型鋼船	7,716	99.2	3,293,025	97.8
プッシャーバージ・台船	1,329	106.0	233,725	96.4
貨 物 船	16,464	99.4	8,593,110	96.6
油 送 船	8,917	101.8	4,570,754	100.5
プッシャーバージ・台船	1,329	106.0	233,725	96.4



凡例：◆ 令和4年度（2022年度） ■ 令和5年度（2023年度） ● 令和6年度（2024年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111（内線 28-748）

担当：染谷、木綿